

移動体用スロットアンテナ

特 願 昭 37-1709

出 願 日 昭 37.1.23

発 明 者 佐藤利三郎

仙台市中島町50

同 長浜良三

横浜市戸塚区吉田町292株式会社日立製作所
作所工場内

同 沢井重樹

同 所

出 願 人 株式会社日立製作所

東京都千代田区丸の内2の12

代 委 者 駒井健一郎

代 理 人 弁理士 佐藤直

図面の簡単な説明

図は本発明に係る移動体用スロットアンテナの一実施例の説明図である。

発明の詳細な説明

近時移動体、特に自動車などにテレビジョン受像機を搭載する要求が高まって来ているが、従来自動車の外観を害することなく利得が大きく、水平(または垂直)の偏波に適応してしかもその指向性を簡単に変化し得るこ

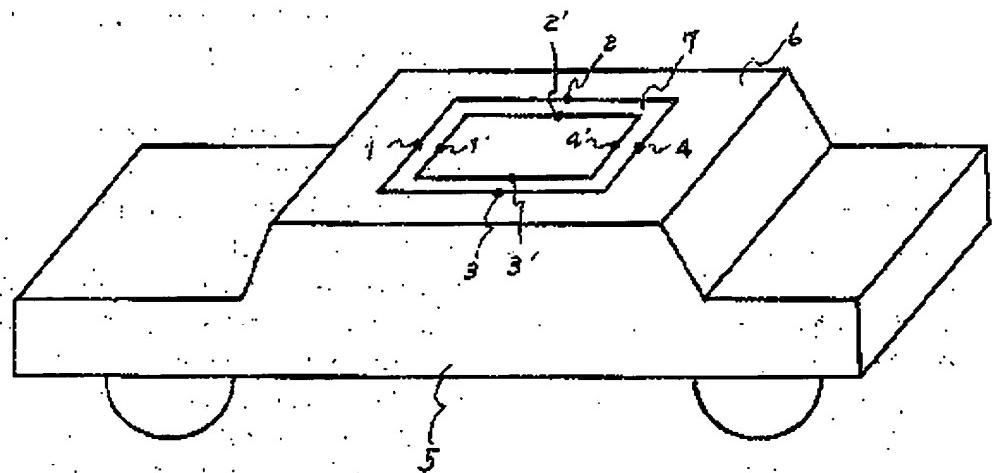
ときアンテナが提供せられていない。本発明はこのような要求を満足せる移動体用スロットアンテナに係るものである。

本発明を一実施例について説明すると図面に示すようになれば自動車体5の導電体で作られた天井6に、幅をもつた棒型のスロット7を設け、スロット7により分けられた2つの導電体を素子とするアンテナとして使用するものである。またこのアンテナの鏡電点を図面に示すように4つの点1, 1', 2, 2'、3, 3', 4, 4'にとり、それを切換え選択することにより水平偏波の電波に対して、水平方向360°を90°(直角)づつずれた指向性を獲うものである。

なお本発明は自動車とは限らず移動体であればよく、また天井に棒型スロットアンテナを設けることばかりでなく、移動体の側面あるいは他の面に棒型のスロットを形成してスロットアンテナにすることも可能なるものである。

特許請求の範囲

- 少くとも1面が導電体で構成されている移動体において、該導電体に幅をもつた棒型のスロットを設けて2分された導電体によりアンテナを形成し、該棒型の4辺の中心部を鏡電点としてそれぞれの鏡電点を切換え選択することにより指向性を90°(直角)づつずれた方向に変化し得ることを特徴とする移動体用スロットアンテナ。



Best Available Copy